

1 調査の名称 環境保全型農業資材及び土壌消毒剤・技術の導入状況調査

2 調査の目的

県内における環境保全型農業の実践に必要な農業資材や土壌消毒剤等の使用実態を把握し、環境保全型農業の推進に資するための基礎資料を得ることを目的とする

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲 高知県全域

(2) 属性的範囲 農業者

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

(1) 数 約12,500戸

(2) 選定の方法 (■全数 □無作為抽出 □有意抽出)

県が作成している農業者のリストによる

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項 (詳細は調査票を参照)

①天敵導入状況、②温存ハウス等の利用状況、③微生物製剤などの導入状況、

④交配昆虫の導入状況、⑤物理的・耕種的防除資材等の導入状況、

⑥土壌消毒剤・技術の導入状況、⑦果樹におけるIPM技術の導入状況

(2) 基準となる期日又は期間 毎年5月末

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査組織 高知県－報告者

(2) 調査方法 (□調査員調査 □郵送調査 □オンライン調査 ■その他(職員))

県が出先機関(農業振興センター・普及所)を通じて、報告者への聞き取りにより直接調査を行う

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期 1年

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

毎年7月～9月(令和2年度にあつては、11月中旬～12月中旬)